UCHIDA

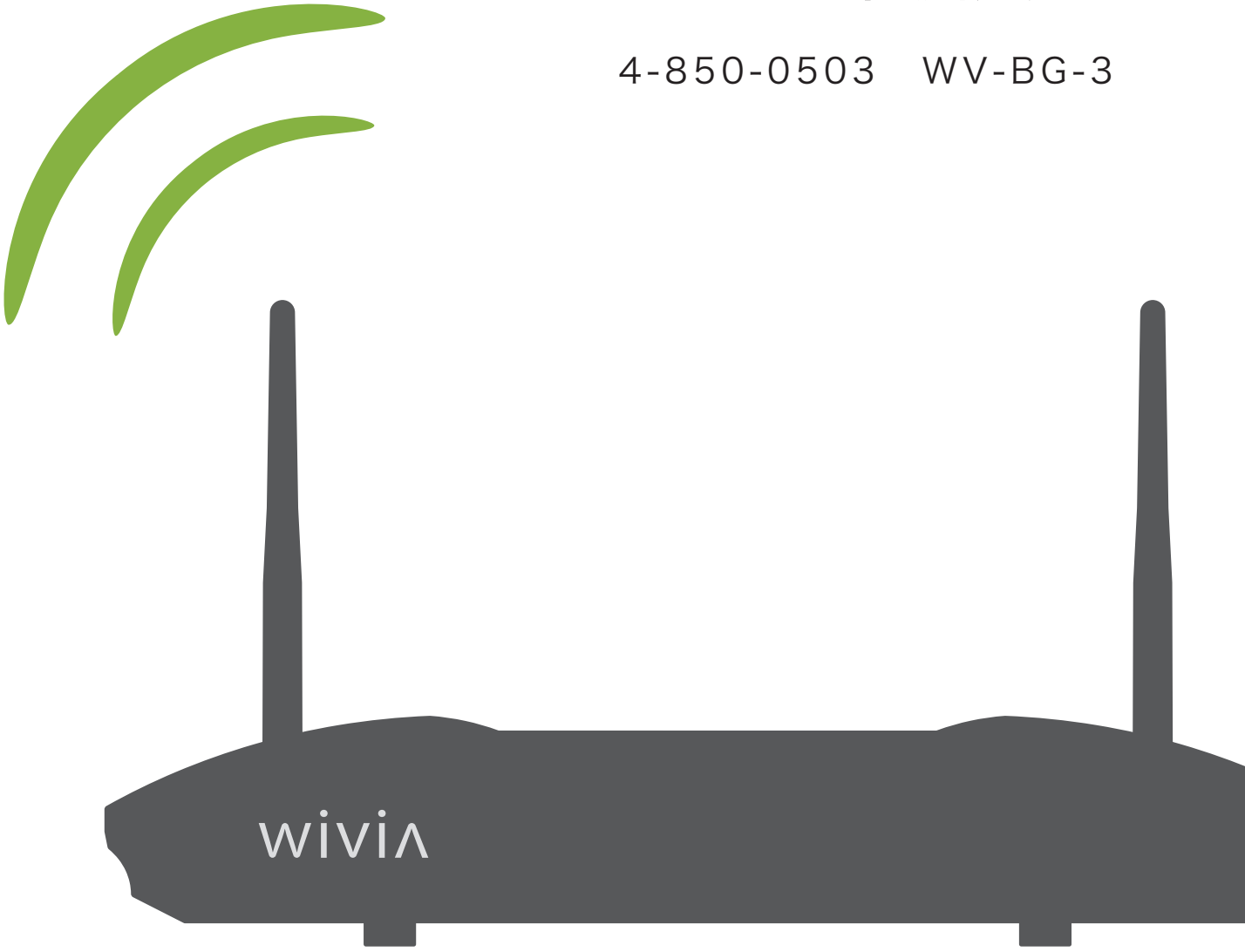
T049001-00015F

無線対応プレゼンテーション用機器

ワイビア
wivia®

wivia 3 取扱説明書

4-850-0503　WV-BG-3



ご使用になる前に、この『取扱説明書』と、製品に付属する『クイックマニュアル』の
「本製品を安全にご使用いただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

株式会社 内田洋行

目次

はじめにご確認ください 03

第 1 章
wivia をご使用になる前に 05

1. wivia でできること 06
2. 各部の名称とはたらき 07
3. 用途と状況に応じた設定を知る 09
4. 表示装置を接続する 12
5. PC を wivia に無線 LAN で接続する 14
6. wivia ソフトウェアをインストールする 17

第 2 章
wivia ソフトウェアの使い方 21

1. wivia ソフトウェアを起動する 22
2. wivia ソフトウェアの画面の見方 25
3. PC の画面を wivia に投影する 27
4. 動画ファイルを wivia で再生する 29
5. 複数の wivia を同時に使う 31
6. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき 32

第 3 章
wivia ソフトウェアの高度な設定 33

1. wivia がリストに表示されないときの設定 34
2. wivia 使用時の PC の画面解像度を設定する 36
3. 投影方式などを設定する 37
4. 複数の PC に同じ設定を行う 40
5. 起動 USB メモリーを作成する 41
6. アップデートを自動的に確認する 42

第 4 章
カンファレンスコントロール（司会者を設ける） 43

1. 発表者がカンファレンスコントロールに参加する 44
2. 司会者が Web 管理画面で操作する 45

第 5 章
wivia の設定変更 47

1. Web 管理画面で設定を変更する 48
2. 用途と状況に合わせて設定する 49
3. システム管理の設定項目 52
4. 出荷時状態に戻す 59
5. ファームウェアを最新版にする 60

はじめにご確認ください

wivia のバージョンをご確認ください

この取扱説明書は、以下のバージョンの wivia について説明しています。

wivia ファームウェア ：4.0.0.0 以降
wivia ソフトウェア　：3.2.0.0 以降（Windows 用）　3.2.0.0 以降（Mac 用）

○wivia ファームウェアのバージョンは、待機画面で確認できます（P.13）。wivia ソフトウェアのバージョンは、オプションメニューから確認できます（P.25）。

○iPhone ／ iPad および Android 搭載のスマートフォン、タブレットでお使いいただく場合は、wivia Presenter または wivia Docs の取扱説明書をご参照ください。

○バージョンが異なると、機能や画面が説明と異なることがあります。

最新のサポート情報をご確認ください

wivia サポート Web サイトにて、最新版のファームウェア・ソフトウェア、FAQ などの情報を掲載しています。定期的にご確認ください。

▶ http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html

ネットワーク環境をご確認ください

本製品を既設のネットワークに接続して使用する場合やセキュリティソフトのパーソナルファイアウォール機能を使用している場合には、導入前に既存システムの管理者にご確認ください。

本製品の USB ポートについてのご注意

本製品の USB ポートにマウスを接続して使用すると、まれに近接するラジオやテレビジョン受信機に雑音や画面の乱れを引き起こす可能性がありますので、本製品はマウスを接続しないでお使いください。

コンピューターの構成をご確認ください

専用ソフトウェア動作環境

OS	Windows 8・8.1 ／ Windows 7 SP1 ／ Windows Vista SP2 Mac OS X 10.10.3 ／ 10.9.5 ／ 10.8.5 ／ 10.7.5
各種設定環境	専用ソフトウェア／ Web ブラウザ

2015 年 7 月現在の動作検証環境です。

本書には Windows XP の記述がありますが、Windows XP のサポートはバージョン 3.0.1.0 の wivia ソフトウェアまでとなります。

無線 LAN

規格	IEEE 802.11b/g/n 2.4GHz
通信距離	最大 100m（ただし障害物がない場合）
最大通信速度	300Mbps
セキュリティ	IEEE Standard 64/128bit WEP、WPA/WPA2-PSK（AES）、WPA/WPA2-Enterprise

初期設定では、デュアルチャンネル（40MHz 幅）で動作します。

有線 LAN

規格	IEEE 802.3（10BASE-T）／ IEEE 802.3u（100BASE-TX）／ IEEE 802.3ab（1000BASE-T）
コネクタ形状／ポート数	RJ-45 コネクタ × 1
最大通信速度	10/100/1000Mbps（オートネゴシエーション）
PoE 規格	IEEE802.3at type 1

wivia® は、株式会社内田洋行の登録商標です。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、® などのマークは記載していません。

また、説明の画面は、実際と異なることがあります。

第 1 章
wivia をご使用になる前に

wivia の基本機能の説明と、接続など使用するための準備を行います。

ネットワークに接続しながら使いたい場合や、wivia を無線 LAN のアクセスポイントとしても使いたい場合など、用途によって接続方法が異なります。

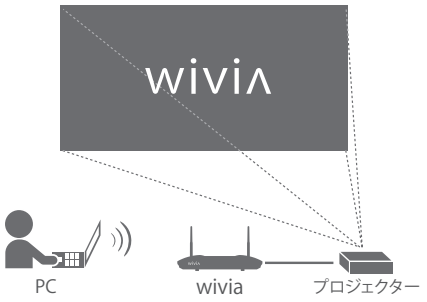
本章は、必ずお読みください。

1. wivia でできること P.06
2. 各部の名称とはたらき P.07
3. 用途と状況に応じた設定を知る P.09
4. 表示装置を接続する P.12
5. PC を wivia に無線 LAN で接続する P.14
6. wivia ソフトウェアをインストールする P.17

1. wivia でできること

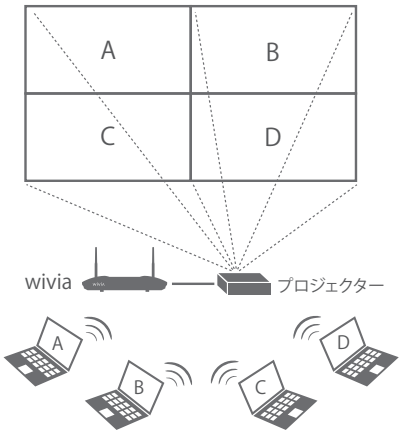
PC の画面を離れた表示装置に表示できます

プロジェクターやモニターなどの表示装置に wivia を接続することで、有線または無線 LAN 接続されたコンピューター（以降、PC）の画面を表示装置に表示（以降、投影）できます。大画面の表示装置を使用するプレゼンテーションなどに最適です。



複数の PC から共有の表示装置に表示できます

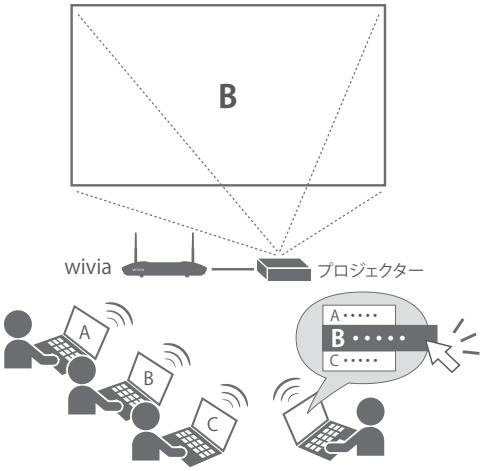
表示装置の画面を 4 分割表示にすることで、最大 4 台の PC 画面を同時に投影できます。異なる資料を持ち寄った会議や、参加者それぞれの回答を確認するようなグループ学習に最適です。（P.27）



司会者を決めて、表示する PC を指定できます

複数の PC 画面を投影する場合は、司会者を決めると便利です。

表示装置にどの PC 画面を投影するのか指定したり、1 つの PC 画面を全画面に表示するのか、複数の PC 画面を分割で表示するのかを司会者の PC で指定できます。セミナーや授業に最適です。（P.43）

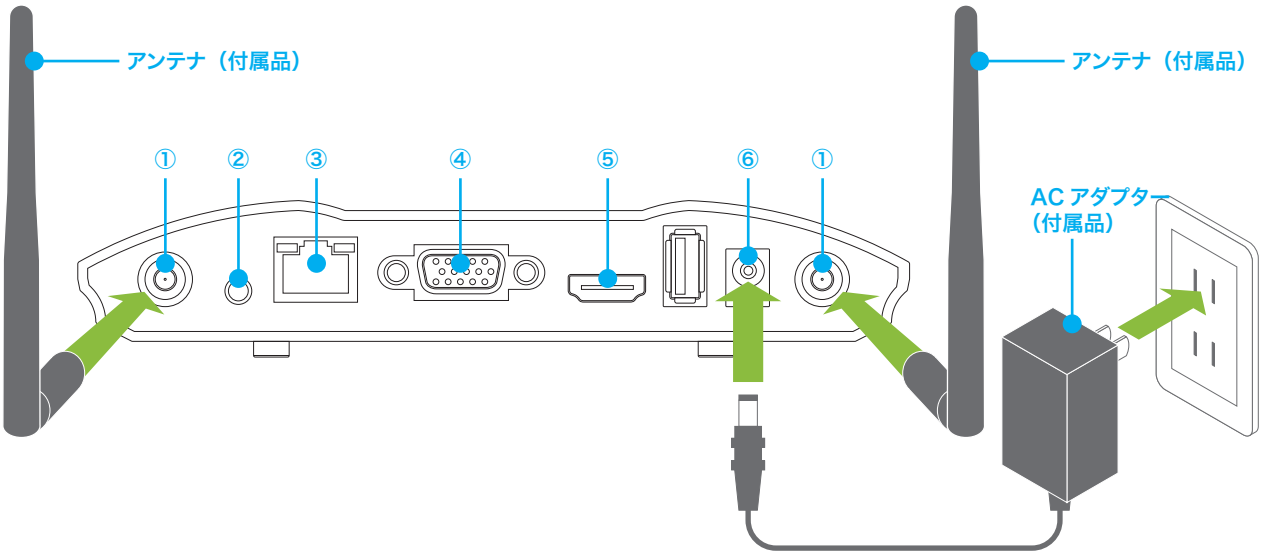


2. 各部の名称とはたらき

前面

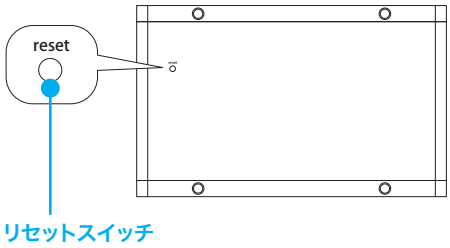
① 電源スイッチ	wivia の電源を ON ／ OFF します。

背面



① アンテナコネクター	アンテナ（付属品）を接続し、無線 LAN 電波を送受信します。
② ステレオミニ端子	VGA ケーブル使用時、音声を出力する場合にスピーカーを接続します。
③ LAN ポート	有線 LAN でネットワーク機器や PC に接続します。
④ VGA ポート	VGA ケーブルで表示装置を接続します。
⑤ HDMI ポート	HDMI ケーブルで表示装置を接続します。
⑥ 電源コネクター	AC アダプター（付属品）を接続します。

底面



リセットスイッチ	wivia の設定を出荷時の状態に戻します。（P.59）

その他の付属品

・クイックマニュアル　：wivia の基本的な使い方を説明しています。詳しい機能については本書をお読みください。

・保証書、ソフトウェア使用許諾契約書

・同梱物一覧

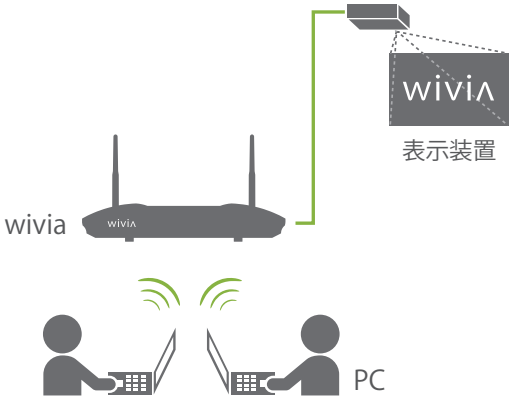
3. 用途と状況に応じた設定を知る

wivia を使いながらインターネットに接続したいなどの使い方や、接続するネットワークや表示装置などの環境に合わせて接続と設定を選択できます。

wivia と PC だけで接続する場合

PC と wivia を無線 LAN で直接接続します。

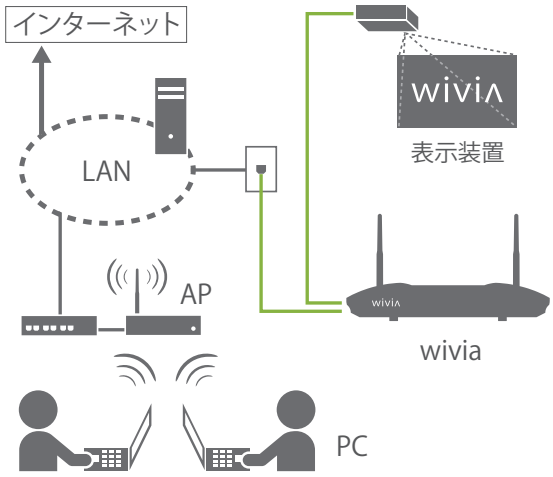
はじめて接続するときや、ほかの方法で接続して上手くいかないときは、この方法で接続してみてください。



ネットワークに wivia を有線で接続する場合

既存の LAN に有線 LAN で wivia を接続し、無線 LAN で PC を接続することで、LAN 経由で PC と wivia を接続します。

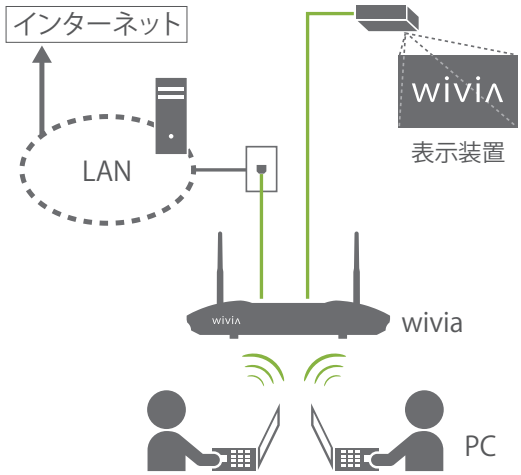
wivia に投影しながら LAN に接続できます。インターネットに接続された LAN の場合は、PC からインターネットに接続することもできます。



wivia を無線 AP として使うとき

既存の LAN に無線 AP がないときは、wivia を有線 LAN で既存の LAN に接続し、PC と wivia を無線 LAN で直接接続します。

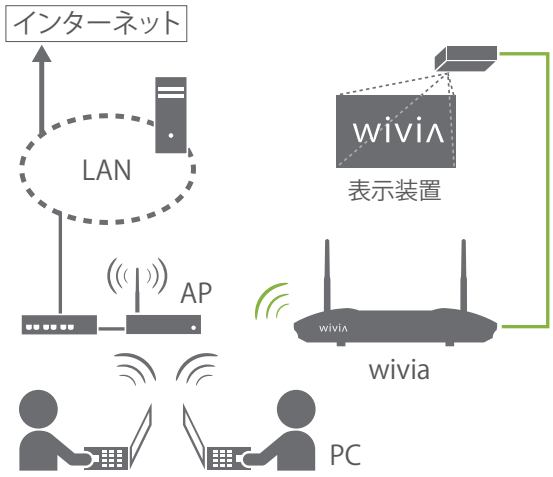
wivia に投影しながら LAN に接続できます。インターネットに接続された LAN の場合は、PC からインターネットに接続することもできます。



ネットワークに wivia を無線で接続する場合

既存の LAN に PC・wivia とも無線 LAN で接続することで、LAN 経由で PC と wivia を接続します。

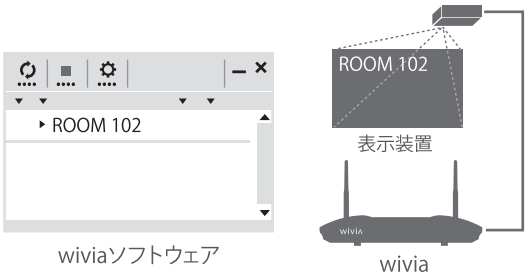
wivia に投影しながら LAN に接続できます。インターネットに接続された LAN の場合は、PC からインターネットに接続することもできます。



wivia 名（画面名）を設定する

複数の wivia を使う場合、それぞれに異なる wivia 名（画面名）を付けておくと、wivia ソフトウェアで wivia を名前で区別できます。設定操作については「用途と状況に合わせて設定する」(P.49) を参照してください。

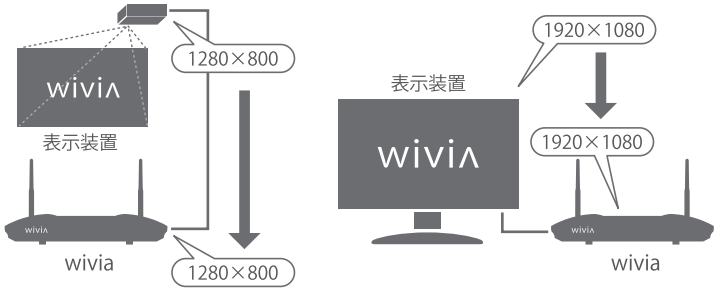
wivia を設置する場所の名前を付けておくと便利です。（例：ROOM 102）



表示装置に合わせて解像度を設定する

はじめてお使いになるときは、使用する表示装置の解像度に合わせて、wivia の画面の解像度を設定してください。設定操作については「用途と状況に合わせて設定する」（P.49）を参照してください。

画面の解像度が一致していないと、表示装置に鮮明に表示できません。



wivia KEY を使用するか選択する

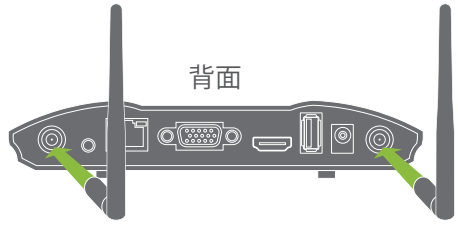
お買い上げ時の設定では、使用するたびに異なる 4 桁の数字（wivia KEY）が表示されます。表示装置で wivia KEY を確認し、wivia ソフトウェアに入力します。

wivia ソフトウェアの操作を容易にするため、wivia KEY を毎回同じになるように設定したり、wivia KEY の入力を不要に設定したりできます。設定操作については「用途と状況に合わせて設定する」（P.49）を参照してください。

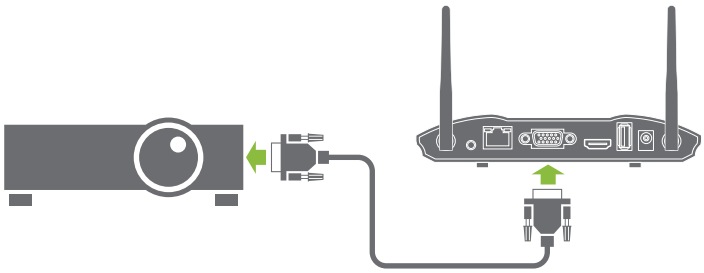
4. 表示装置を接続する

投影する表示装置に wivia を接続します。

表示装置を wivia に接続する

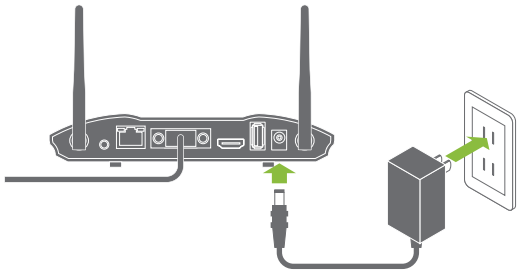


1 wivia に付属のアンテナを接続します。



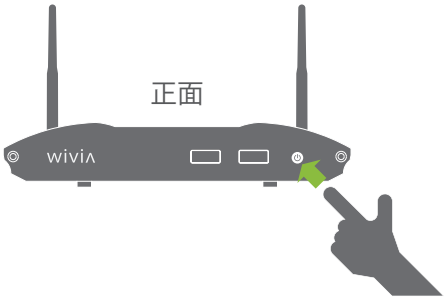
2 VGA ケーブルまたは HDMI ケーブルを wivia と表示装置に接続します。

◆ VGA ケーブルを使用する場合、PC の音声を出力するには、オーディオケーブルを wivia 背面のステレオミニ端子とスピーカーに接続します。



3 付属の AC アダプターを wivia の電源コネクターと電源コンセントに差し込みます。

4 表示装置の電源を入れます。



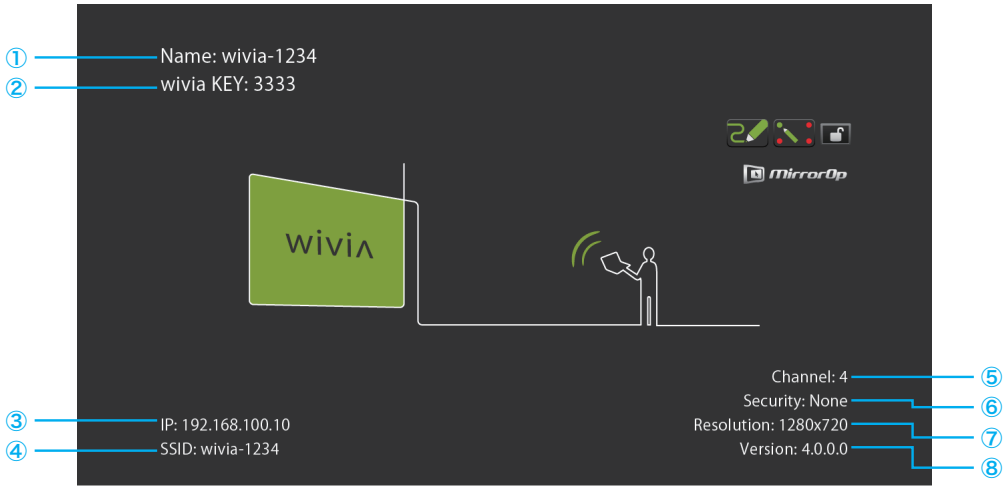
5 wivia の電源スイッチを押します。

電源スイッチが点灯し、1 分ほどで表示装置に wivia の待機画面が表示されます。

◆ wivia の使用後は電源を OFF にしてください。

wivia の待機画面を確認する

wivia を表示装置につないで起動すると、下記のような待機画面が表示され、wivia の各種情報が表示されます。



項目名	機能	参照先
① **wivia 名（画面名）**	複数の wivia を使うとき、wivia ソフトウェアで識別できます。	→ P.25, P.55
② **wivia KEY**※	投影するときに、wivia ソフトウェアに入力します。	→ P.27, P.55
③ **IP アドレス**※	wivia の IP アドレスです。wivia を発見できないときに指定できます。	→P.17, P.35, P.53, P.55
④ **SSID**※	wivia を無線 AP として使うときなどに指定します。	→P.14, P.53, P.55
⑤ **無線チャンネル**※	使用している無線 LAN のチャンネルが表示されます。	→ P.53
⑥ **セキュリティ**※	無線 LAN の暗号化方式が表示されます。	→ P.53
⑦ **解像度**	wivia が出力する画面解像度です。表示装置に合わせて変更できます。	→ P.55
⑧ **ファームウェアバージョン**	wivia のファームウェアのバージョンが表示されます。	→ P.60

※各項目は、設定によっては表示されません。

5. PC を wivia に無線 LAN で接続する

wivia の無線ネットワーク名（SSID）を指定して、PC と無線 LAN で接続します。SSID は wivia の待機画面の左下に表示されます（P.13）。SSID の指定操作はお使いの PC の OS によって異なります。

wivia と PC の接続方法が、「用途と状況に応じた設定を知る」（P.09）の「wivia と PC だけで接続する場合」と「wivia を無線 AP として使うとき」の場合にのみ、この操作を行います。

Windows 8 で無線 LAN の接続先を変更する

1 スタート画面でチャームを表示し、「設定」を選択します。

◆ タッチパネルで操作する場合は、画面右端から左方向にスワイプするとチャームが表示されます。

◆ マウスで操作する場合は、画面右上または右下にマウスカーソルを合わせるとチャームが表示されます。

2 ネットワークのアイコンを選択します。

Wi-Fi（無線ネットワーク）が一覧表示されます。

3 表示された Wi-Fi（無線ネットワーク）のリストの中から接続したい SSID を選択し、接続します。

Windows 7 で無線 LAN の接続先を変更する

1 タスクバーに表示されているアイコンをクリックします。

◆ アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます。

2 表示された Wi-Fi（無線ネットワーク）のリストの中から接続したい SSID を選択し、接続します。

Windows Vista で無線 LAN の接続先を変更する

1 タスクバーに表示されているアイコンをクリックし、表示されるメニューで「ネットワークに接続」を選択します。

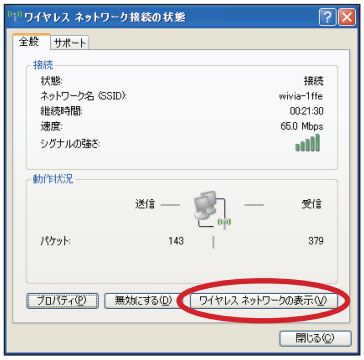
◆ アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークと共有センター」から「ネットワークに接続」を選択すると同様の画面が表示されます。

2 表示された Wi-Fi（無線ネットワーク）のリストの中から接続したい SSID を選択し、接続します。

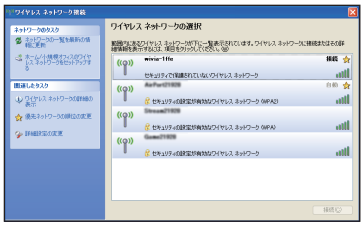
Windows XP で無線 LAN の接続先を変更する

1　タスクバーに表示されているアイコンをダブルクリックします。

◆ アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネルから「ネットワーク接続」を開き、「ワイヤレスネットワーク接続」をダブルクリックすると同様の画面が表示されます。



2　表示された画面右下の「ワイヤレスネットワークの表示」をクリックします。



3　表示された Wi-Fi（無線ネットワーク）のリストの中から接続したい SSID を選択し、接続します。

Mac OS X で無線 LAN の接続先を変更する

1　メニューバーに表示されているアイコンをクリックします。

◆ アイコンが表示されていない場合は、アプリケーション　>　システム環境設定を開き、「ネットワーク」を選択します。表示される画面で Wi-Fi の設定画面を開き、「メニューバーに Wi-Fi の状況を表示」にチェックを入れると、メニューバーにアイコンが表示されます。

2　表示された Wi-Fi（無線ネットワーク）のリストの中から接続したい SSID を選択して、接続します。

◆ 接続したい SSID が表示されない場合は、「ほかのネットワークに接続」を選択し、表示される画面でネットワークを指定して接続してください。

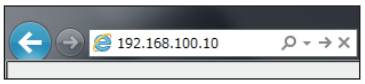
6. wivia ソフトウェアをインストールする

PC に wivia ソフトウェアをインストールします。起動 USB メモリーが用意されている場合（P.24）はインストールの必要はありません。

wivia ソフトウェアをダウンロードする

PC を wivia に無線 LAN で接続する場合は、PC の無線 LAN を設定（P.14）してください。

1 wivia の待機画面（P.13）で IP アドレスを確認します。

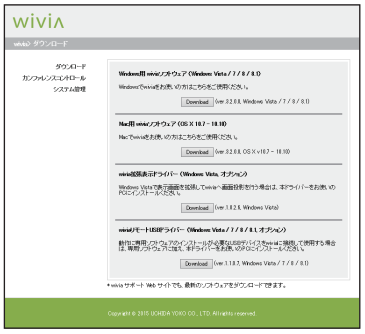


2 ブラウザを起動し、アドレス欄に wivia の IP アドレスを入力します。

Web 管理画面が表示されます。

3 「ダウンロード」をクリックします。

ダウンロード画面が表示されます。



4 wivia ソフトウェアの「Download」ボタンをクリックし、PC に保存します。

◆ お使いのパソコンの OS に合せて、適切なファイルをダウンロードしてください。

ⓘ wivia ソフトウェアは、wivia サポート Web サイトからもダウンロードできます。

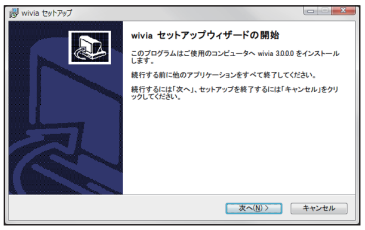
▶ http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html

ⓘ Windows XP をお使いの場合、wivia サポート Web サイトからバージョン 3.0.1.0 の wivia ソフトウェアをダウンロードしてください。

Windows でソフトウェアをインストールする

wivia_Windows_3200.exe

1　ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



2　表示される画面に従ってインストールします。

PC の追加ディスプレイとして使うとき

Windows Vista と Windows XP で、ディスプレイの拡張機能を使用するときは、wivia 拡張表示ドライバー「Virtual Display Driver」をインストールします。Windows Vista の場合は前述の操作でダウンロードしてください。Windows XP の場合は wivia サポート Web サイトからダウンロードしてください。

その他の OS では、ドライバーをインストールしなくても使用できます。

ディスプレイの拡張機能については「投影中に PC で別の表示をする」（P.37）を参照してください。

音声付きで投影するとき

Windows XP で音声付きで投影するときは、wivia 音声転送ドライバー「Virtual Audio Driver」をインストールします。wivia サポート Web サイトからダウンロードしてください。

その他の OS では、ドライバーをインストールしなくても使用できます。

音声付き投影については「音声付きで投影するとき」（P.28）を参照してください。

? PC の設定によっては、拡張子（.exe）は表示されません。

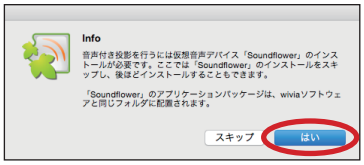
Mac OS X でソフトウェアをインストールする

wivia_MacOSX_3200.pkg

1 ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

2 表示される画面に従ってインストールします。

「Info」画面が表示されます。



3 「はい」をクリックし、表示される画面に従って Soundflower をインストールします。

インストールが終了すると、Mac が再起動します。

◆「スキップ」をクリックすると、音声付きで投影できなくなります。あとで Soundflower をインストールする場合は、「音声付きで投影するとき」（P.28）を参照してください。

? PC の設定によっては、拡張子（.pkg）は表示されません。

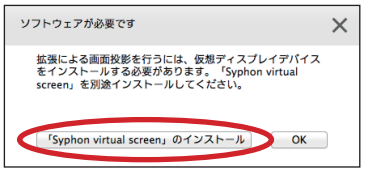
Mac の追加ディスプレイとして使うとき

ディスプレイの拡張機能を使用するときは、Syphon virtual screen をインストールします。

1　wivia ソフトウェアを起動します（P.22）。

2　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「ディスプレイ表示」を選択します。

「ソフトウェアが必要です」画面が表示されます。



3　表示された画面で「Syphon virtual screen のインストール」をクリックし、表示される画面に従ってインストールします。

インストールが終了すると、Mac が再起動します。

第 2 章
wivia ソフトウェアの使い方

wivia には、「画面投影」と「動画再生」の 2 つの使い方があります。

「画面投影」は、PC の画面を映すときに使います。wivia に接続した表示装置（ディスプレイ、プロジェクターなど）を、PC に直接接続したように使用できます（P.27）。

「動画再生」は、動画ファイルを再生するときに使います。再生する動画ファイルを wivia に送ることで、PC で動画ファイルを再生しながら投影する場合と比べて、表示がスムーズになります（P.29）。

本章は、必ずお読みください。

1. wivia ソフトウェアを起動する P.22
2. wivia ソフトウェアの画面の見方 P.25
3. PC の画面を wivia に投影する P.27
4. 動画ファイルを wivia で再生する P.29
5. 複数の wivia を同時に使う P.31
6. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき P.32

1. wivia ソフトウェアを起動する

あらかじめ、PC の無線 LAN を設定（P.14）してください。

インストールした wivia ソフトウェアを起動する

あらかじめ PC に wivia をインストール（P.17）してください。

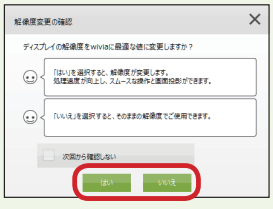
❶ wivia のアイコンをダブルクリックします。

◆ Windows の場合
デスクトップの「wivia」アイコンをダブルクリックします。
デスクトップにアイコンがないときは、スタートメニュー（Windows 8 ではスタート画面）から「wivia」を選択します。

◆ Mac OS X の場合
Dock の「wivia」アイコンをクリックします。
Dock にアイコンがないときは、「アプリケーション」フォルダ内の「wivia」フォルダを開き、「wivia.app」をダブルクリックします。

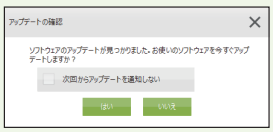
❷ wivia ソフトウェアが起動し、wivia 名（画面名）がリストに表示されることを確認します。

◆ wivia 1 台ごとに、リストに 1 行表示されます。



wivia ソフトウェアを起動すると、「解像度変更の確認」画面が表示される場合があります。内容を確認し、「はい」または「いいえ」をクリックすると、手順 2 の画面が表示されます。
「次回から確認しない」にチェックを入れると、次回の起動時から「解像度変更の確認」画面は表示されません。

PC の設定によっては、拡張子（.app）は表示されません。



wivia ソフトウェアを起動すると、「アップデートの確認」画面が表示される場合があります。「はい」をクリックし、表示される画面に従って最新の wivia ソフトウェアをインストールしてください。

アップデートしない場合は「いいえ」をクリックします。

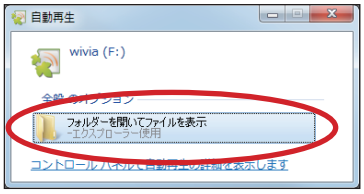
「次回からアップデートを通知しない」にチェックを入れると、次回の起動時から、この画面は表示されません。

起動 USB メモリーから起動する

起動 USB メモリーの作成方法については、「起動 USB メモリーを作成する」（P.41）を参照してください。

1 PC の USB ポートに起動 USB メモリーを取り付けます。

Windows の場合、設定によっては「自動再生」画面が表示されます。



2 「自動再生」画面が表示されたときは、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。

起動 USB メモリーの内容が表示されます。

wivia

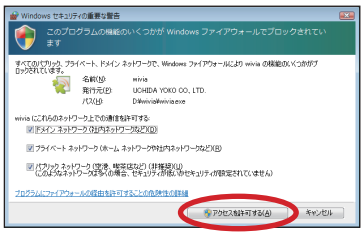
3 起動 USB メモリーを開き、wivia のアイコンをダブルクリックします。

◆ Windows の場合、「wivia」。

◆ Mac OS X の場合、「wivia.app」。

wivia ソフトウェアが起動します。

Windows の場合、設定によっては「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



4 ファイアウォールに関する警告画面が表示された場合は、管理者権限のユーザーで「アクセスを許可する」をクリックします。

◆ 許可しない場合、動画ファイルの再生機能（P.29）が動作しません。

◆ 以降の操作は「インストールした wivia ソフトウェアを起動する」（P.22）の手順 2 を参照してください。

? PC の設定によっては、拡張子（.app）は表示されません。

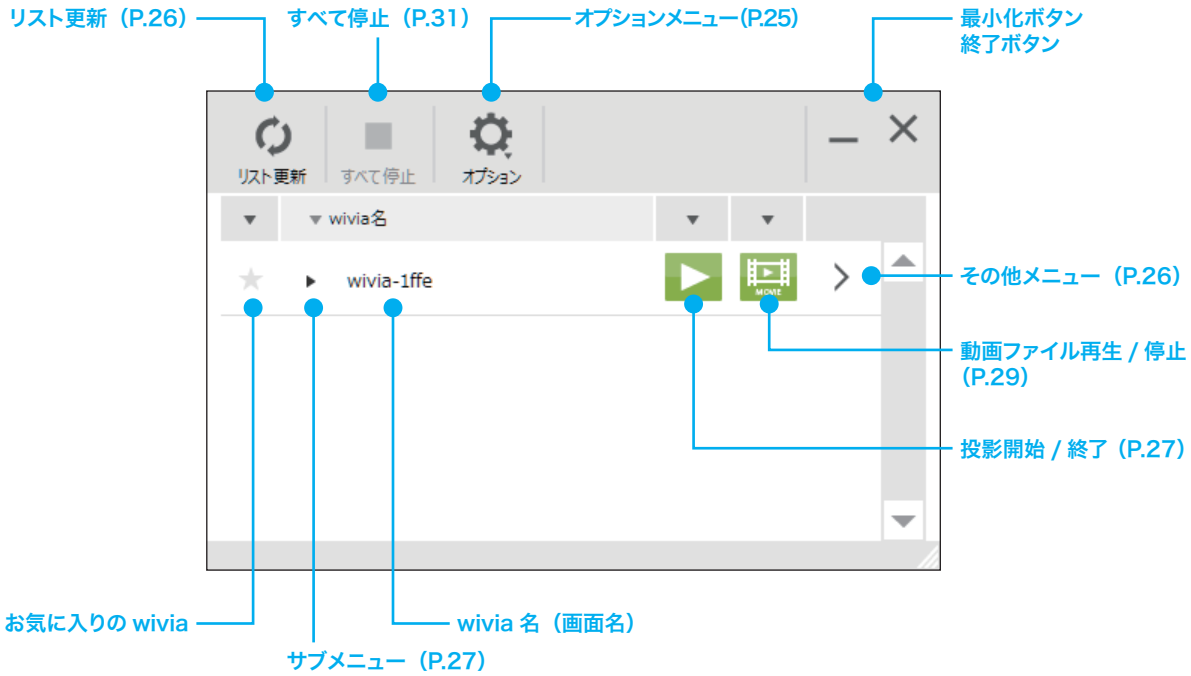
? お使いの PC の OS またはお使いの機器によっては、あらかじめ PC にドライバーをインストールしていない場合、以下の機能を利用できません。

・PC の追加ディスプレイとして使う拡張表示機能（Windows Vista, Windows XP, Mac OS X）

・音声付きで投影する機能（Windows XP, Mac OS X）

2. wivia ソフトウェアの画面の見方

wivia ソフトウェアでは、次の機能を使用できます。



オプションメニューの項目

項目名	機能	参照先
検索の設定	どの wivia をリストに表示するか指定します。	→ P.34
投影の設定	投影方法などを設定します。	→ P.37
タブレットから操作する	この PC をタブレット端末で操作するときに設定します。	–
ブラウザでの表示を可能にする	この PC の投影中の画面を、wivia Snaps 機能を使う PC の Web ブラウザにも投影できるようにします。	→ P.32
起動時解像度を設定する	wivia ソフトウェア起動時の PC の解像度を設定します。	→ P.36
起動 USB を作成する	起動 USB メモリーを作成します。	→ P.41
設定をインポートする	wivia ソフトウェアの設定ファイルを読み込み、一括設定します。	→ P.40
設定をエクスポートする	wivia ソフトウェアの設定をファイルに保存し、ほかの PC を設定するときに使えるようにします。	→ P.40
このソフトウェアについて	wivia ソフトウェアのバージョンなどを確認します。また、wivia ソフトウェアのアップデートを自動的に確認するかどうかを設定します。	→ P.42
ヘルプ	各メニュー項目のヘルプを参照します。	–

その他メニューの項目

項目名	機能	参照先
Web 管理画面表示	選択した wivia を設定できます。 また、wivia Snaps 機能を使い、wivia に投影中のほかの PC の画面を閲覧できます。	→ P.48
IP アドレス表示	選択した wivia の IP アドレスを確認できます。	–
司会者になる	カンファレンスコントロール機能の司会者になります。	→ P.45
発表者として参加	カンファレンスコントロール機能に発表者として参加します。 wivia に投影操作を行うと、自動的に ON になります。	→ P.44

リストに wivia が表示されないとき

「リスト更新ボタン」をクリックします。それでも wivia が表示されないときは、「wivia がリストに表示されないときの設定」（P.34）を参照してください。

多くの wivia が表示されるとき

よく使う wivia の「お気に入りの wivia ボタン」をクリックします。お気に入りの wivia として登録すると、常にリストの上位に表示でき、さらに、起動時に wivia を検索しないよう設定してもリストに表示できます（P.35）。

3. PC の画面を wivia に投影する

1　投影したい画面の ▶ をクリックします。

2　「wivia KEY の入力」画面が表示される場合、それぞれを入力し、「OK」をクリックします。

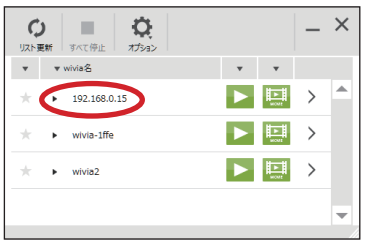
項目	内容
表示名	利用者の名前などを入力できます（省略できます）。
wivia KEY	待機画面（P.13）に表示されている wivia KEY を入力します。

投影を終了するとき

■ をクリックして投影を終了します。

投影方法を変更する

サブメニューを使って投影方法を変更します。



1　投影方法を変更したい場合、操作したい画面の ▶ または wivia 名（画面名）をクリックします。

サブメニューが表示されます。

2　表示されたサブメニューのボタンで操作します。

投影を一時停止するとき

投影している表示装置で、PC の操作を見せたくないときに一時停止できます。

1　サブメニューの「一時停止ボタン」をクリックします。

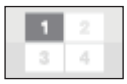
投影画面が一時停止します。

◆ 手元の PC を操作しても、表示装置で投影する画面は一時停止したままです。

2　「全画面投影ボタン」、「音声付き全画面投影ボタン」または「4 分割投影ボタン」をクリックすると、投影が再開されます。

複数の画面を一度に投影するとき

投影画面を 4 分割して、最大 4 人までの画面を投影できます。



1　サブメニューの「4 分割投影ボタン」をクリックします。

指定した位置に PC 画面が投影されます。

◆ 投影したい位置のボタンをクリックします。

音声付きで投影するとき

PC の音声を wivia に接続したスピーカーから出力できます。

1　サブメニューの「音声付き全画面投影ボタン」をクリックします。

PC 画面が表示装置に投影され、wivia に接続しているスピーカーから PC で再生している音声が再生されます。

Mac で「音声付き全画面投影ボタン」が暗く表示される場合、Soundflower がインストールされていないため、音声付きで投影できません。

音声付きで投影するには、このボタンをクリックし、表示された「ソフトウェアが必要です」画面で「Soundflower のインストール」をクリックし、画面に従ってインストールします。

インストールが終了すると、Mac が再起動します。

Windows XP をお使いの場合、wivia ソフトウェアに加えて、wivia 音声転送ドライバーのインストールが必要です（P.17）。

4. 動画ファイルを wivia で再生する

動画ファイルを再生するときは、PC で再生して表示装置に投影するよりも、wivia の再生機能を使用する方が動きが滑らかになります。

対応する動画ファイル

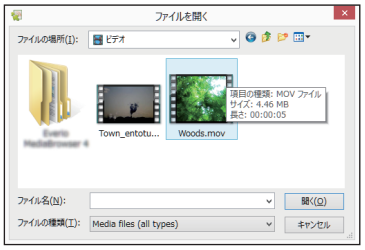
以下の形式の動画ファイルを wivia で再生できます。

ファイル形式	MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-2 TS / MPEG-4 / WMV9 / MOV / Motion JPEG / MKV / AVI / ASF / DVR-MS
動画コーデック	MPEG-1 / MPEG-2 / MPEG-2 TS / MPEG-4* / WMV9** / QuickTime / Motion JPEG 1920×1080・30fps・20Mbps 以内 * Microsoft MPEG-4 v1 ～ 3 は非対応 ** WMV3/WVC1 のみ対応
音声コーデック	LPCM / AAC / MP3 / WMA 48kHz・320kbps 以内

動画ファイルを再生する

音声が必要な場合は、あらかじめ wivia にスピーカーを接続してください。

1　再生したい画面の「動画再生ボタン」をクリックします。

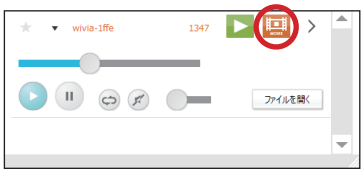


2　再生したいファイルを選択します。

選択したファイルが再生されます。

◆ 動画は表示装置に投影されます。手元の PC 画面には表示されません。

3　表示された操作パネルで動画を操作します。



4　動画再生を途中でやめたい場合は「動画停止ボタン」をクリックします。

ⓘ 起動 USB メモリーから wivia ソフトウェアを起動する場合、本機能を使用するには、起動時に表示される「Windows セキュリティの重要な警告」画面で「アクセスを許可する」（Windows Vista、Windows XP では「ブロックを解除する」）をクリックしてください。（P.24）

ⓘ IP アドレスを指定して検索対象に追加した wivia（P.35）は、同一ネットワーク上に存在しない場合、動画再生機能を使用できないことがあります。

5. 複数の wivia を同時に使う

ネットワーク上に複数の wivia を接続すると、リストに各 wivia が表示され、PC 画面の投影を同時に行うことができます。

音声付きの画面投影および動画ファイルの再生を行えるのは、同時に 1 台の wivia のみです。

投影と再生をすべて終了するとき

1　「すべて停止ボタン」をクリックします。

投影中のすべての表示装置への投影・動画再生が終了します。

- **停止操作を行った PC からの投影・動画再生のみが停止します。別の PC からの投影・動画再生は停止されません。**
- **同時に投影を行う wivia の台数は、4 台以内を推奨します。**

6. 投影中の画面が遠くて見えにくいとき

会議の参加者が、発表者が投影する表示装置の画面が遠くて見えにくい場合などに、自分の PC で表示できます。

あらかじめ、「wivia Snaps 設定」（P.57）を「有効」にし、発表者の wivia ソフトウェアで「ブラウザでの表示を可能にする」（P.25）を「ON」にしてください。

1　「その他メニューボタン」をクリックし、表示されるメニューから「Web 管理画面表示」を選択します。

ブラウザが起動します。

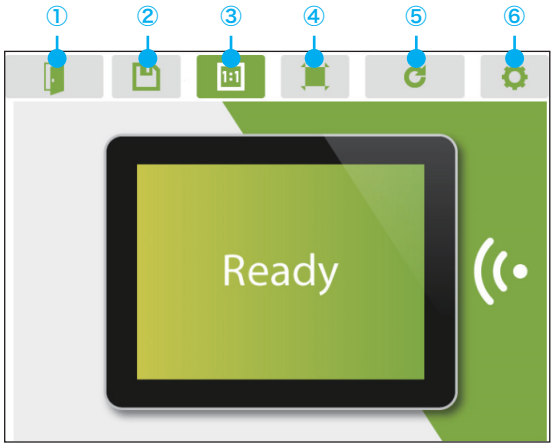
2　「wivia Snaps →」をクリックします。

wivia Snaps 画面が表示されます。

◆ wivia が投影状態の場合は、投影中の画面が表示されます。

◆ wivia が待機状態の場合は、「Ready」と表示されます。

wivia Snaps 画面の表示



① 戻る	「Web 管理画面」に戻ります。
② 保存	表示中の画面を画像として保存します。
③ 原寸表示	画面を原寸大で表示します。
④ 表示領域に合わせて表示	画面をブラウザの表示領域に合わせて拡大または縮小して表示します。
⑤ 画面を更新	画面を手動で更新します。 wivia Snaps 画面は約 5 秒間隔で更新されますので、5 秒以上の間隔を空けて操作してください。
⑥ 自動更新間隔選択	画面を自動で更新する間隔を、手動（自動更新しない）、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒、60 秒の中から選択します。

第 3 章
wivia ソフトウェアの高度な設定

wivia の検索方法や画面解像度、投影方式などを好みに合わせて設定します。設定した内容はエクスポートして、別の PC にインポートすることで、共通の設定にできます。

また、起動 USB メモリーを作成できます。

本章は、必要に応じてお読みください。

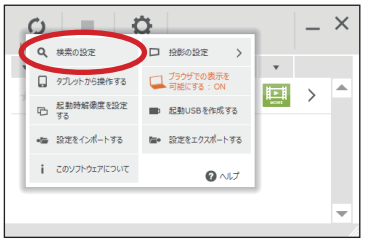
1. wivia がリストに表示されないときの設定 P.34
2. wivia 使用時の PC の画面解像度を設定する P.36
3. 投影方式などを設定する P.37
4. 複数の PC に同じ設定を行う P.40
5. 起動 USB メモリーを作成する P.41
6. アップデートを自動的に確認する P.42

1. wivia がリストに表示されないときの設定

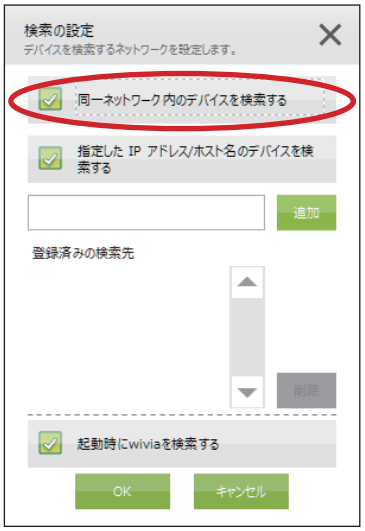
wivia ソフトウェアのリストに wivia が表示されない場合に、以下の設定を行います。

同一ネットワーク内の wivia を検索する

リストに同一ネットワークの wivia が自動的に表示されるように設定します。



1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「検索の設定」を選択します。

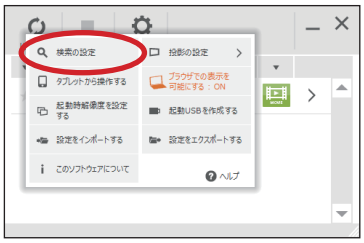


2　表示された画面で「同一ネットワーク内のデバイスを検索する」にチェックを入れます。

3　「OK」をクリックします。

wivia を個別に指定する

通常の検索で発見できない場合に、wivia の IP アドレスを指定することで検索対象に追加できます。検索対象のネットワークに追加すると、通常より検索に時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「検索の設定」を選択します。

2　表示された画面で「指定した IP アドレス／ホスト名のデバイスを検索する」にチェックを入れます。

3　追加したい IP アドレスを入力します。

◆ 不特定多数を示すアドレス（ブロードキャストアドレス）を使った検索はできません。

4　「追加」をクリックします。

指定した IP アドレスが、検索対象に登録されます。

5　「OK」をクリックします。

⑦「検索の設定」画面で「起動時に wivia を検索する」のチェックを外すと、wivia ソフトウェアの起動時に検索を行わず、お気に入りに登録された wivia のみをリストに表示します。

「検索の設定」画面の設定に従って wivia を検索するには、「リスト更新ボタン」をクリックします（P.26）。

⑦ Mac OS X でシステム環境設定のセキュリティの「ファイアウォール」を有効にしているときは、wivia の受信接続を許可する設定が必要です。「必須サービスのみ許可」に設定している場合、wivia を使用することができません。

2. wivia 使用時の PC の画面解像度を設定する

wivia ソフトウェア起動時に表示される「解像度変更の確認」画面で「次回から確認しない」にチェックを入れた場合は、起動後に以下の操作で解像度を変更します。

1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「起動時解像度を設定する」を選択します。

2　表示された画面で解像度を選択します。

- ◆「解像度を変更せずに起動する」を選択すると、起動時に解像度が変更されません。
- ◆「起動時に確認ダイアログを表示しない」にチェックを入れると、起動時に「解像度変更の確認」画面が表示されません。

3　「OK」をクリックします。

3. 投影方式などを設定する

投影中に PC で別の表示をする

表示装置画面への投影方法は、PC の表示画面をそのまま表示する複製表示と、PC 画面の表示領域を広げる拡張表示があります。

拡張表示にすると、手元の PC 画面で説明資料を表示しながら、表示装置画面にプレゼンテーション資料を投影できます。

1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「ディスプレイ表示」を選択します。

2　表示された画面で「表示画面を拡張する」を選択します。

ⓘ Mac で「ソフトウェアが必要です」画面が表示される場合、Syphon virtual screen がインストールされていないため、拡張表示できません。

拡張表示するには、Syphon virtual screen をインストールします（P.20）

3　「OK」をクリックします。

ⓘ Windows XP、Windows Vista をお使いの場合、wivia ソフトウェアに加え、wivia 拡張表示ドライバーのインストールが必要です（P.17）。

DirectX を必要とするソフトウェアを使う

投影モードの設定は、Windows 用 wivia ソフトウェアのみの機能です。

通常は「OFF」でお使いください。下記の「ON」への変更は、CAD ソフトウェアなどの高度なグラフィックス機能を使用するアプリケーションを投影する場合にお使いください。その場合には、画面描画が「OFF」に比べて遅くなり、お使いのコンピューターのパフォーマンスに影響を与えることがありますので、あらかじめご了承ください。

1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「DirectX を表示」を選択します。

2　表示された画面で、「ON」を選択します

◆ Windows 8 では「ON」のみを選択できます。

3　「OK」をクリックします。

4　wivia ソフトウェアの再起動を確認する画面が表示されたら、「OK」をクリックします。

wivia ソフトウェアが再起動し、投影モードが変更されます。

◆ DirectX 表示モードの必要がなくなりましたら、「OFF」に戻してお使いください。

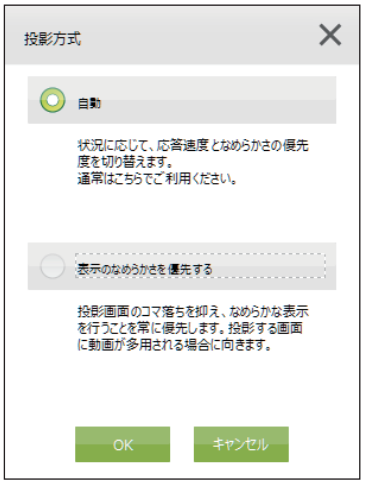
? 内田洋行の「e- 黒板アシスタント」、「Deldea アシスタント」と wivia を同時に使う場合は、「ON」を選択してください。

動画を多用する

画面投影時に動画を多用する場合や、よりなめらかな画面投影を実現する場合に、本設定を使用します。

1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「投影の設定」を選択します。さらに、サブメニューから「投影方式」を選択します。

投影方式画面が表示されます。



2　表示された画面で、使用する設定を選択します。

- ◆ 動画を多用する場合は、「表示のなめらかさを優先する」を選択します。
- ◆ フレームレートを常に優先して投影しますが、投影画面での表示に遅延（タイムラグ）が起こりやすくなります。

3　「OK」をクリックします。

音声と画質の設定画面が閉じ、設定が変更されます。

4. 複数の PC に同じ設定を行う

検索の設定や投影の設定などの設定情報を設定ファイルに書き出し、別の PC で設定ファイルから読み込んで反映させることができます。

1 設定済みの PC で、wivia ソフトウェアの「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「設定をエクスポートする」を選択します。

2 表示された画面で、設定ファイルを書き出すフォルダとファイル名を指定します。

指定されたフォルダに設定ファイルが書き出されます。

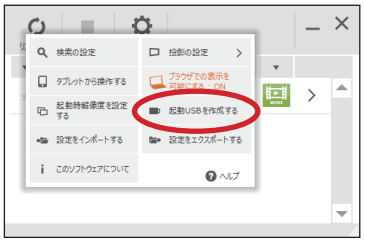
3 別の PC で、wivia ソフトウェアの「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「設定をインポートする」を選択します。

4 表示された画面から、インポートしたい wivia の設定ファイル（拡張子 .wcf）を選択します。

設定ファイルの情報がインポートされます。設定のインポートにより投影モードが変更された場合は、wivia ソフトウェアの再起動が必要になります。

5. 起動 USB メモリーを作成する

お手持ちの USB メモリーで起動 USB メモリーを作成しておくと、wivia ソフトウェアをインストールしていない PC でも wivia ソフトウェアを起動できます（P.24）。



1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「起動 USB を作成する」を選択します。

2　表示される画面の指示に従って、起動 USB メモリーを作成します。

お手持ちの USB メモリーに wivia ソフトウェアのプログラム関連ファイルを書き込みます。

必要なファイル容量は Windows 版・Mac 版それぞれ 100MB 以内です。プログラム書き込み後も、残りの容量分は通常の USB メモリーとして使用できます。

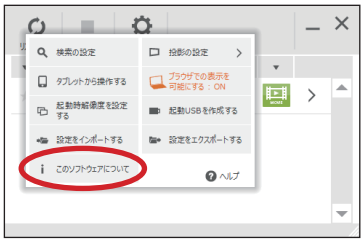
起動 USB メモリーから起動した wivia ソフトウェアからは、起動 USB メモリーを作成できません。

USB メモリーの最上階層に「wivia」という名前のフォルダー、アプリケーション、またはショートカットファイルが存在する場合、起動 USB メモリー作成時に上書きされますのでご注意ください。

また、Windows 用 wivia ソフトウェアでは、上記に加えて「autorun.inf」（設定ファイル）が作成されます。

6. アップデートを自動的に確認する

wivia ソフトウェアの起動時にアップデートを通知する機能です（P.22）。



1　「オプションボタン」をクリックし、表示されるメニューから「このソフトウェアについて」を選択します。

2　表示された画面で「ソフトウェアのアップデートを通知する 」にチェックを入れます。

◆ チェックを外すと、wivia ソフトウェアの起動時にアップデートを通知しません。

3　「OK」をクリックします。

ⓘ 投影中に wivia から自動的にダウンロードし、wivia ソフトウェアの次回の起動時にアップデートを通知します。
wivia を管理する方は、この機能を有効に使うため、wivia のファームウェアを最新版にしてください（P.60）。

第 4 章
カンファレンスコントロール（司会者を設ける）

複数の発表者がいる会議などには、カンファレンスコントロール機能のご利用をおすすめします。誰の PC 画面を、どのように表示装置に投影するかを、司会者がコントロールでき、会議の円滑な進行に役立ちます。

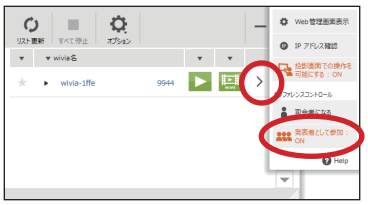
カンファレンスコントロールで司会者になる方は、本章をすべてお読みください。発表者になる方は、次のページのみお読みください。

1. 発表者がカンファレンスコントロールに参加する P.44

2. 司会者が Web 管理画面で操作する P.45

1. 発表者がカンファレンスコントロールに参加する wivia

PC 画面を表示装置に投影したい発表者は、カンファレンスコントロールに参加します。



1 「その他メニューボタン」をクリックし、表示されるメニューから「発表者として参加：OFF」を選択します。

メニュー項目が「発表者として参加：ON」に変化します。

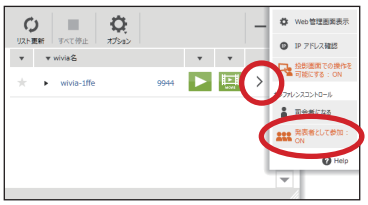
◆ wivia KEY の入力画面が出る場合、待機画面（P.13）に表示されている wivia KEY を入力してください。

2 司会者の指示を待ちます。

司会者が操作すると、PC 画面が投影されます。

◆ wivia ソフトウェアを操作しないでください。

3 発表が終わったら、司会者が投影を終了します。



4 「その他メニューボタン」をクリックし、表示されるメニューから「発表者として参加：ON」を選択します。

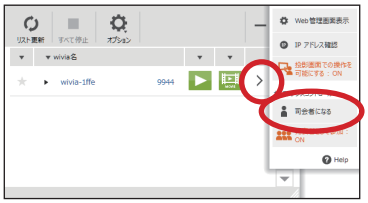
メニュー項目が「発表者として参加：OFF」に変化します。

2. 司会者が Web 管理画面で操作する

カンファレンスコントロールの司会者は、ログインした後、投影する PC 画面の投影タイミング、投影方法をコントロールします。

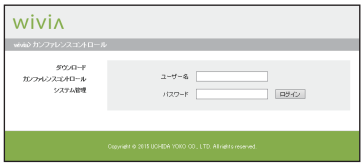
司会者としてログインする

カンファレンスコントロールに司会者として参加します。



1　「その他メニューボタン」クリックし、表示されるメニューから「司会者になる」を選択します。

ログイン画面が表示されます。



2　ユーザー名、パスワードを入力し、「ログインボタン」をクリックします。

ブラウザが起動し、カンファレンスコントロール画面が表示されます。

◆ 初期ユーザー名と初期パスワードは「operator」です。

◆ wivia KEY の入力画面が出る場合、待機画面（P.13）に表示されている wivia KEY を入力してください。

発表者の PC を投影させる

カンファレンスコントロール画面で、表示装置に投影する発表者の PC 画面を選択します。

1　「投影コントロール」で、投影する PC を選択します。

- ◆ 全画面に投影する場合は「FULL」を選択し、4 分割に投影する場合は「1」～「4」の場所を選択します。
- ◆ 投影を終了するときは「STOP」を選択します。
- ◆「ユーザー名」欄には PC のログインユーザー名または「wivia KEY の入力」画面（P.27）で入力した表示名が表示されます。
- ◆ カンファレンスコントロールでは、音声付き投影（P.28）は行えません。

ログアウトする

カンファレンスコントロールを終了する場合は、必ずログアウトしてください。

ログアウトが終わるまで、カンファレンスコントロールに使った wivia は使用できません。

1　「ログアウト」をクリックします。

第 5 章
wivia の設定変更

システム管理者として Web 管理画面にアクセスして、wivia を用途に合わせて設定します。

本章は、wivia を管理する方のみお読みください。

1. Web 管理画面で設定を変更する P.48
2. 用途と状況に合わせて設定する P.49
3. システム管理の設定項目 P.52
4. 出荷時状態に戻す P.59
5. ファームウェアを最新版にする P.60

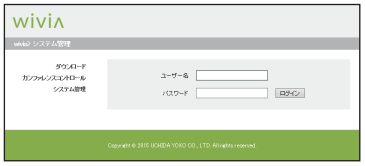
1. Web 管理画面で設定を変更する

1 「その他メニューボタン」クリックし、表示されるメニューから「Web 管理画面表示」を選択します。

ブラウザが起動します。

2 「システム管理」をクリックします。

ログイン画面が表示されます。

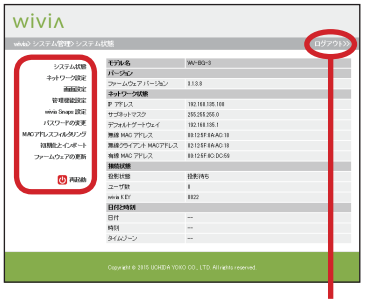


3 ユーザー名、パスワードを入力し、「ログインボタン」をクリックします。

システム状態画面が表示されます。

◆ 初期ユーザー名と初期パスワードは「root」です。

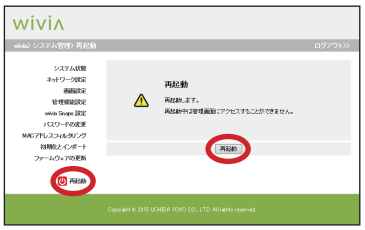
◆ wivia KEY の入力画面が出る場合、待機画面（P.13）に表示されている wivia KEY を入力してください。



変更しない時は、こちらで
ログアウトしてください。

4 各項目を選択して、wivia の設定を行います（P.49）。

◆ 設定を変更後、「適用」をクリックします。



5 左側の「再起動」をクリックし、右側の「再起動」をクリックして、wivia を再起動します。

wivia が再起動し、1 分ほどでブラウザに手順 2 の画面が表示されます。

◆ 手順 2 の画面が表示されない場合は、PC を wivia に無線 LAN で接続し直してください（P.14）。

2. 用途と状況に合わせて設定する

「用途と状況に応じた設定を知る」（P.09）の方法に応じて、wivia のネットワークを設定します。

ネットワークに wivia を有線で接続する

1. **「Web 管理画面」にログインし、「ネットワーク設定」をクリックします。**
2. **「IP の設定」、「DHCP サーバの設定」を、接続するネットワークに合わせて設定します。**
3. **「無線の設定」の「無線 LAN」を「無効」にします。**
4. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

ネットワークに wivia を無線で接続する

1. **「Web 管理画面」にログインし、「ネットワーク設定」をクリックします。**
2. **「IP の設定」、「DHCP サーバの設定」を、接続するネットワークに合わせて設定します。**
3. **「無線の設定」の「無線 LAN」を「無効」にします。**
4. **「無線 LAN クライアント設定」を設定します。**

   ◆ 既設の無線 LAN に接続：有効

   既存 AP の SSID　：接続する AP の SSID を入力

   セキュリティ　　：接続する AP のセキュリティ方式を選択

   キー　　：接続する AP のセキュリティキーを入力

5. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

wivia を無線 AP として使う

1. **「Web 管理画面」にログインし、「ネットワーク設定」をクリックします。**
2. **「IP の設定」、「DHCP サーバの設定」を、接続するネットワークに合わせて設定します。**
3. **「無線の設定」を目的に合わせて設定します。**

◆ 無線 LAN：有効

SSID	：wivia の無線ネットワーク名を変更できます。
チャンネル	：無線の干渉を防ぐ場合に変更します。
セキュリティ	：無線のセキュリティキーを設定する場合に変更します。
チャンネル帯域幅	：無線の干渉を防ぐ場合に、20MHz に変更します。
無線出力レベル	：無線の干渉を防ぐ場合に変更します。

4. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

wivia 名（画面名）を設定する

1. **「Web 管理画面」にログインし、「画面設定」をクリックします。**
2. **「画面設定」の「画面名」に wivia 名（画面名）を入力します。**
3. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

表示装置に合わせて解像度を設定する

1. **「Web 管理画面」にログインし、「画面設定」をクリックします。**
2. **「画面設定」の「画面の解像度」を表示装置の解像度に合わせて設定します。**
3. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

wivia KEY を使用するか選択する

1. **「Web 管理画面」にログインし、「画面設定」をクリックします。**

2. **「画面設定」の「wivia KEY」を目的に合わせて設定します。**

   無効　　：wivia KEY を使用しない場合に選択

   ランダム：毎回異なる wivia KEY を使用する場合に選択

   指定　　：毎回同じ wivia KEY を使用する場合に選択

3. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

> ⑦ **このページの説明にある設定内容はあくまで最小限の一例です。**
> **設置環境に応じて、ネットワーク設定(P.53)、画面設定(P.55)、パスワードの変更(P.57)などの各設定を行ってください。**

3. システム管理の設定項目

システム管理画面には以下の設定項目があります。

システム状態

wivia の状態が表示されます。

項目		内容
モデル名		wivia のモデル名
バージョン	**ファームウェア　バージョン**	wivia のファームウェアバージョン
ネットワーク状態	**IP アドレス**	wivia の IP アドレス
	サブネットマスク	wivia のサブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ	wivia のデフォルトゲートウェイ
	無線 MAC アドレス	wivia を無線 AP として使うときの MAC アドレス
	無線クライアント MAC アドレス	ネットワークに wivia を無線で接続するときの MAC アドレス
	有線 MAC アドレス	ネットワークに wivia を有線で接続するときの MAC アドレス
	無線チャンネル	wivia の現在の無線チャンネル
接続状態	**投影状態**	投影待ちまたは投影中
	ユーザー数	wivia にログインしているユーザー数
	wivia KEY	wivia に接続するための wivia KEY
日付と時刻	**日付**	wivia に設定されている現在の日付
	時刻	wivia に設定されている現在の時刻
	タイムゾーン	wivia に設定されているタイムゾーン

ネットワーク設定

wivia のネットワークに関する設定を行います。

項目		初期値	内容
IP の設定		IP アドレスの自動取得	「IP アドレスの自動取得」または「以下の IP アドレスを利用する」を選択します。
	IP アドレス	192.168.100.10	「以下の IP アドレスを利用する」を選択した場合には、適切な値を設定してください。wivia がすでに DHCP サーバーのあるネットワークに接続されている場合は、サーバーから IP アドレスを振り分けられます。 接続されていない場合は、初期値が設定されます。
	サブネットマスク	255.255.255.0	
	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10	
	DNS サーバ	192.168.100.10	
DHCP サーバの設定		自動	「自動」または「無効」を選択します。
	開始 IP アドレス	192.168.100.11	wivia の DHCP サーバーが配布する最初の IP アドレスです。
	終了 IP アドレス	192.168.100.254	wivia の DHCP サーバーが配布する最後の IP アドレスです。
	サブネットマスク	255.255.255.0	wivia の DHCP サーバーが提示するサブネットマスクです。
	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10	クライアントに割り当てるゲートウェイの IP アドレスです。
	DNS サーバ	192.168.100.10	DNS サーバーの IP アドレスです。
無線の設定	無線 LAN	有効	「有効」または「無効」を選択します。
	SSID	wivia-xxxx ※ 1	半角英数字（最大文字列数 32 文字）
	地域	WORLDWIDE	「WORLDWIDE」または「JAPAN」を選択します。
	SSID ブロードキャスト	有効	「有効」または「無効」を選択します。
	バンド	2.4GHz	この項目は変更できません。
	チャンネル	Auto	ドロップダウンリストから「Auto」または固定のチャンネルを選択します。 「Auto」の場合は、wivia の起動時にチャンネルを自動的に選択します。
	セキュリティ	Disable	使用する暗号化方式を 「Disable」、「WEP」、「WPA PSK」、 「WPA2 PSK」、「WPA Enterprise」、 「WPA2 Enterprise」 の中から選択します。
	キー	–	暗号化を使用する場合は、選択した暗号化方式に合わせてキーを設定する必要があります。
	チャンネル帯域幅	20/40MHz Auto	「20/40MHz Auto」または「20MHz」を選択します。

項目		初期値	内容
無線の設定	**無線出力レベル**	100%	出力する電波の強度を「100%」、「75%」、「50%」、「25%」、「12%」、「5%」の中から選択します。
RADIUS の設定	**IP アドレス**	192.168.100.10	「無線の設定」の「セキュリティ」で「WPA Enterprise」または「WPA2 Enterprise」を選択した場合に、RADIUS サーバーの IP アドレス、ポート番号、Radius Key を設定します。
	ポート番号	1812	
	Radius Key	–	
無線 LAN クライアント設定	**既設の無線 LAN に接続**	無効	「有効」または「無効」を選択します。
	既存 AP の SSID	–	接続する AP の SSID を入力します。「検索」をクリックして、AP をドロップダウンリストから選択することもできます。
	セキュリティ	Disable	使用する暗号化方式を「Disable」、「WEP」、「WPA AES」、「WPA2 AES」、「WPA TKIP」、「WPA2 TKIP」の中から選択します。
	キー	–	暗号化を使用する場合は、選択した暗号化方式に合わせてキーを設定する必要があります。
ホスト名とドメイン名	**ホスト名**	wivia-xxxx ※ 1	wivia のホスト名を入力します。
	ドメイン名	–	wivia のドメイン名を入力します。
ポートの開放		インターネットのみ（ポート 80 及び 443）	ポートの開放設定を適用することで、wivia 経由で無線 LAN 通信を使用したすべてのユーザーに対して、ネットワークセキュリティを保持できます。 全て開放： ユーザーによるすべてのネットワークアクセスを許可します。 全て遮断： ユーザーによるすべてのネットワークアクセスをブロックします。 インターネットのみ（ポート 80 および 443）： ユーザーによるすべてのネットワークアクセスをブロックしますが、インターネットへのアクセスは可能にします。
この wivia を経由した他の wivia の発見		有効	「有効」または「無効」を選択します。 「無効」にすると、wivia の無線 LAN に接続している PC から、ネットワーク上の他の wivia を検索できなくなります。

※ 1：「xxxx」には、ランダムな 4 桁の英数字が入ります。

画面設定

表示装置への投影に関する設定を行います。

項目		初期値	内容
画面設定	**画面名**	–	wivia ソフトウェアに表示される wivia 名（画面名）を設定できます。（半角英数字　最大 16 文字） 未設定の場合、ホスト名が wivia 名（画面名）として表示されます。
	画面の解像度	VGA 1024×768（XGA）	HDMI　720p　：1280×720 1080i　：1920×1080 1080p ：1920×1080 VGA　800×600（SVGA） 1024×768（XGA） 1280×720（HDTV） 1280×768（WXGA） 1280×800（WXGA） 1360×768（FWXGA） 1440×900（WXGA ＋） 1600×1200（UXGA） 1920×1080（Full-HD）
	wivia KEY	ランダム	「無効」、「ランダム」または「指定」の中から選択します。 パスワードの設定は任意の数字 4 文字を入力します。
	操作パネル	表示する	「表示する」または「表示しない」を選択します。
ネットワーク情報の表示	**IP アドレス**	表示する	「表示する」または「表示しない」を選択します。
	SSID	表示する ※ 2	
	wivia KEY	表示する	
	接続中の PC	表示する	
背景の設定	**背景画面イメージ**	–	設定中の背景イメージが表示されます。
	初期設定に戻す	–	クリックすると背景画面が初期設定に戻ります。
	ファイル名	–	「参照…」をクリックして、背景に設定する画像を選択します。
	イメージファイルアップロード	–	選択した画像を wivia にアップロードして、背景イメージに設定できるようにします。
スクリーンセーバー設定		無効	スクリーンセーバーを設定します。 「有効」または「無効」を選択し、待ち時間を選択します。

※ 2：「ネットワーク設定」で「SSID ブロードキャスト」を「無効」に設定した場合、「SSID」の設定に関わらず、wivia の待機画面に SSID は表示されません。

管理機能設定

wivia の動作ログ、日付と時刻と、再起動に関する設定を行います。

Syslog（動作ログ）を有効にする場合、転送先となる Syslog サーバー（アプリケーション）を別途ご用意ください。Syslog は wivia に保存されません。

項目		初期値	内容
SNMP V3		有効	専用管理ツールで wivia を管理することができます。 「有効」または「無効」を選択します。
	ユーザー名	admin	管理ツールで使用するユーザー名（半角英数字 最大 16 文字）を変更できます。
	認証パスワード（SHA）	Authadmin	管理ツールで使用する認証パスワード（半角英数字 最大 32 文字）を変更できます。
	暗号化パスワード（AES）	Privadmin	管理ツールで使用する暗号化パスワード（半角英数字 最大 32 文字）を変更できます。
	SNMP トラップ転送先	0.0.0.0	管理ツールに通知を送信する場合の送信先 IP アドレスを入力します。
Syslog		無効	「有効」または「無効」を選択します。
	ログ送信先	192.168.100.1	システムログ転送先の IP アドレスを入力します。
	アクセスログ	有効	アクセスログを転送することができます。 「有効」または「無効」を選択します。
	システムログ	有効	システムログを転送することができます。 「有効」または「無効」を選択します。
日付と時刻		無効	日付と時刻を SNTP/NTP サーバから自動取得できます。 「SNTP/NTP サーバと同期」または「無効」を選択します。
	同期先サーバー	–	日付と時刻を取得するサーバを入力します。
	最終同期時刻	–	最後に同期した時刻が表示されます。
	タイムゾーン	（GMT）9:00	タイムゾーンを選択します。
	日付	–	日付が表示されます。
	時刻	–	時刻が表示されます。
端末のリフレッシュ（再起動）		自動	wivia を自動的に再起動する方法を、「自動」または「時刻で設定」から選択します。 「自動」にすると、使用されていないときに自動的に再起動します。 「時刻で設定」は、「日付と時刻」が「SNTP/NTP サーバと同期」に設定されている場合のみ選択できます。
	リフレッシュ時刻	00：00：00	時刻で設定する場合に、再起動する時刻を選択します。

wivia Snaps 設定

wivia Snaps に関する設定を行います。

項目		初期値	内容
wivia Snaps		無効	wivia に投影されている画面を、Web ブラウザから画像として閲覧することができます。 「有効」または「無効」を選択します。
	自動更新間隔（秒）	手動	wivia Snaps の画面を更新する間隔を選択します。 「手動」、「10」、「15」、「20」、「30」、「60」秒の中から選択します。
	wivia KEY の入力	無効	wivia KEY の入力を設定します。 「有効」または「無効」を選択します。

パスワードの変更

カンファレンスコントロールとシステム管理画面にログインするためのユーザ名とパスワードに関する設定を行います。

項目		初期値	内容
ユーザー名	カンファレンスコントロール	operator	カンファレンスコントロールユーザのユーザ名（半角英数字 最大 8 文字）を変更できます。
	システム管理	root	システム管理ユーザのユーザ名（半角英数字 最大 8 文字）を変更できます。
パスワード	カンファレンスコントロール	operator	カンファレンスコントロールユーザのパスワード（半角英数字 最大 32 文字）を変更できます。
	システム管理	root	システム管理ユーザのパスワード（半角英数字 最大 32 文字）を変更できます。

MAC アドレスフィルタリング

特定の PC 以外を wivia に無線 LAN で接続させない場合は、MAC アドレスフィルタリングを有効にし、接続を許可する PC ごとに、無線 LAN の MAC アドレスを登録します。

1. **「MAC アドレスフィルタリング」の「有効」をクリックします。**
2. **「追加」をクリックし、接続を許可する PC の MAC アドレスを「MAC アドレス」欄に入力します。**
   - ◆ 複数の PC に接続を許可する場合は、手順 2 を繰り返します。
   - ◆ PC ごとの接続許可を取り消すときは、🗑をクリックします。一時的に無効にするときは、「有効」列のチェックを外します。
3. **「適用」をクリックして設定を適用し、「再起動」をクリックして wivia を再起動します。**

? PC の無線 LAN の MAC アドレスを調べる方法については、PC のヘルプをお読みください。

初期化とインポート

wivia の設定ファイルを PC にインポート・エクスポートしたり、wivia の設定を出荷状態に戻します。

項目		内容
インポート / エクスポート		wivia の設定ファイルを PC にインポート・エクスポートします。
出荷時状態に戻す		wivia の設定を出荷状態に戻します（P.59）。

ファームウェアの更新

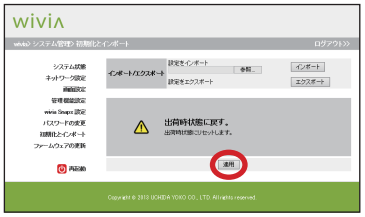
wivia のファームウェアを確認したり、更新します（P.60）。

項目		内容
ファームウェアバージョン		wivia ファームウェアのバージョンが表示されます。
リリース日		wivia ファームウェアがリリースされた日が表示されます。
ファイル名		wivia のファームウェアイメージファイルを指定します。
アップグレード		指定したファームウェアイメージファイルを読み込んで、ファームウェアを更新します。

4. 出荷時状態に戻す

wivia の設定を出荷時の状態に戻します。

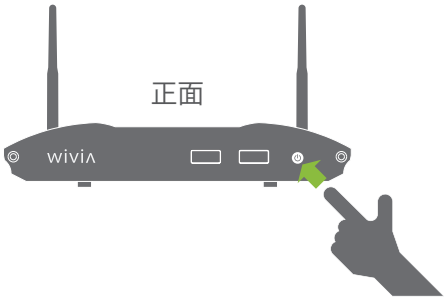
Web 管理画面で戻す

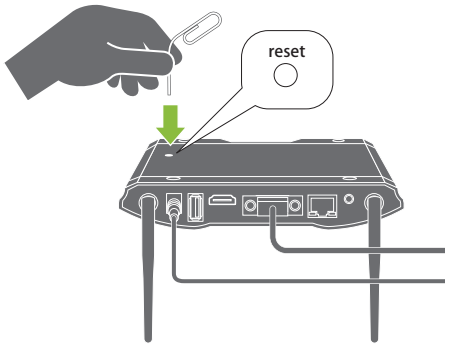


1. **「Web 管理画面」にログインし、「初期化とインポート」をクリックします。**
2. **「適用」をクリックします。**
3. **表示された画面で「OK」をクリックします。**

システムを再起動（P.48）すると、設定が出荷時の状態に戻ります。

リセットスイッチで戻す





1. **wivia の電源を OFF にします。**

◆ 表示装置の電源は ON にしておきます。

2. **伸ばしたクリップなどで底面のリセットスイッチ（reset）を押したまま、wivia の電源スイッチを押して ON にします。**
3. **リセットスイッチを押したまま 1 分ほど待ち、表示装置に wivia ロゴが表示されたら、リセットスイッチを離します。**

工場出荷時の状態で wivia が起動します。

5. ファームウェアを最新版にする

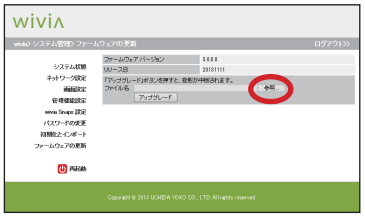
wivia のファームウェアを最新に更新します。アップグレードする前に、お使いいただいているファームウェアのバージョンをご確認ください（P.13、P.52）。

wivia_Firmware_4000.nad

1 最新のファームウェアイメージファイルを取得します。

◆ 最新のファームウェアは、wivia サポート Web サイトもしくは弊社より配布されるものをお使いください。
wivia サポート Web サイト
http://www.uchida.co.jp/wivia/support.html

2 「Web 管理画面」にログインし、「ファームウェアの更新」をクリックします。



3 「参照」ボタンを押して、手順 1 で取得したファイルを指定します。

4 「アップグレード」ボタンを押して、アップグレードを開始します。

警告メッセージが表示され、残り時間が画面上でカウントされます。

3 分ほどで完了メッセージが表示され、wivia が自動的に再起動します。

◆ ネットワーク接続が解除された場合には、再度接続してお使いください。

? アップグレードの進行中に、wivia の電源を絶対に切らないでください。wivia が動作しなくなる可能性があります。アップグレードの進行中には、一時的に待機画面が消え、無線ネットワークの接続も解除されます。アップグレード完了後に自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。

無線対応プレゼンテーション用機器　wivia 3 取扱説明書
2013 年 12 月　第 1 版発行
2015 年　7 月　第 6 版発行

発行元　株式会社 内田洋行
〒 104-8282　東京都中央区新川 2-4-7
http://www.uchida.co.jp/